

2024 年度 環境活動報告

行動計画 結果

☀️: 100%以上

☁️: 80%以上 100%未満

💧: 80%未満

事業継続を目的とする活動

(次世代への組織再編成／コストを意識した品質保証体制／挑戦を続ける姿勢と改善提案活動の継続)

・次世代の組織再編成

→ 2025 年社長交代に向けて、生産管理室の強化など組織再編成を進めました

..... 達成レベル



顧客拡大を目的とする活動

(営業エリア、営業活動方法の見直し／通販事業の拡大／ターゲットを絞った市場開拓)

・営業エリア、営業活動方法の見直し

→ 2025 年より東京を拠点として活動できるように準備を進めました

達成レベル



・通販事業の拡大

→ 対前年度 121% 増加しました

達成レベル



社会継続を目的とする活動

(助け合いながら明るく働ける職場環境／幸せな未来に繋がる環境保全活動／良い運、良い縁に繋がる生き方)

・幸せな未来に繋がる環境保全活動

→ 損紙率を 2022 年対比 2.6% 削減しました

達成レベル



改善挑戦発表会

今年は、3 部構成で発表会を行いました。

第 1 部は『みんなで未来をつくろう！最速で進化する、活気溢れる職場が生み出す持続可能な成長のためのアイデア実践コース』をテーマに 13 チームが発表を行い「グランプリ賞」と「準グランプリ賞」3 チーム表彰 また、いちばん行動計画に沿った内容だった発表チームに「ピッタシ賞」を表彰しました。

※テーマの意味

最速の解決力と安心安定の品質でお客様の信頼を実現し、これからの成長を実現するとともに、働きやすさの工夫で生涯働き続けたいと全員が思える持続可能な成長に挑戦するアイデアを発表するコースです。

第 2 部では、全員研修会として川邊リーダーが『金券・個人情報取扱い基準の変更について』また、二階堂課長・吉川グループ長が『化学物質の取扱いについて』説明を行いました。

第 3 部では、『快適に働くための身体のメンテナンス』をテーマに「株式会社 Raseek」様を招いて講演をしていただきました。

▼ 2024 年 11 月 改善挑戦発表会（アイデア実践コース）の結果です

表彰名	発表名	発表部署
グランプリ賞	ダブル出し丁合への挑戦	ロール丁合
グランプリ賞	出荷検査業務改善	品質保証本部
準グランプリ賞	アシュラム部材セットの作成	DTP グループ
ピッタシ賞	ダブル出し丁合への挑戦	ロール丁合



2025 年度 中間報告

経営ビジョン

- ・ 業界最速の解決力、安心安定の品質により信頼して選んでもらえる企業になる
- ・ 毎日の出社が楽しみで、生涯働きたいと全員が思える活気のあるものづくり工場であり続ける

行動計画（1 月～7 月）の中間報告

達成レベルの見方は前ページを参照ください。

事業継続を目的とする活動

（一点の陰りも無い品質保証体制をつくる／未来を見据えた組織体制をつくる／さらなる生産の効率化、商品開発を推進する）

- ・ 一点の陰りも無い品質保証体制をつくる
→ 品質保証体制の見直し・見える化の推進を行うことで 1 月から 6 月現在で昨年度対比 20%削減をしました

..... 達成レベル

顧客拡大を目的とする活動

（営業が外に出て拡販できる仕組みを完成させる／戦術的な営業を展開し新たな市場を開拓する／スピード!! スピード!! スピード!!）

- ・ 戦術的な営業を展開し新たな市場を開拓する
→ 5 月より東京営業所を移転充実させ、関東エリアでの営業活動を充実させています。

..... 達成レベル

社会継続を目的とする活動

（みんながいきいきと働き続けられる職場をつくる／持続可能な未来のために環境保全活動を推進する／地域社会とつながり本業を通じて貢献する）

- ・ 地域社会とつながり本業を通じて貢献する

→ 滋賀県立虎姫高校が、化学の学習用カードゲーム「ChemiStrategy（ケミストラテジー）」を開発し、合同会社『Chemi-Shiru（ケミシル）』を設立して販売をされています。
当社は、このカードゲーム作成に開発当初から関わり支援をしています。



内部監査

内部監査では、全て現場でのサイトツアーを重視しながら、環境改善の進行状況と課題をその場で明確にし、是正方法を現場リーダーと共に考える実行性を重視して監査を行っています。

	是正	推奨	良い推奨 (+評価)
'22 年	2 件	17 件	26 件
'23 年	5 件	22 件	17 件
'24 年	2 件	20 件	15 件

提案活動経過報告 (9 月～7 月)

当社では、提案活動を予防措置と位置付け、積極的に展開をしています。

9 月から今年 6 月の間に出了た提案件数は 221 件あり、その中から推進が 31 件ありました。推薦に選ばれた提案の中から 10 件を抜粋し右記に記しました。

No.	提案件名
1	バックコレータ増設 下糊（パターン糊に運動追加）
2	主税局 2 ツ折り加工の改善
3	予備棚の雨漏れ防止カバーの作成
4	薬袋ウキタ機 糊機改善（ガタ取り）
5	そっくりさん伝票ナンバーを自動作成
6	透過用電灯の設置でジョガーでの複写確認をしやすく
7	これさえあれば誰でも切れちゃいます！！
8	余り原紙登録の簡素化（原紙管理チーム）
9	純正薬袋リーフレット（ピンク）の製品の回し方の変更
10	カンバン指示書のデータ化

防火管理への取組

3 月 13 日 放水訓練を行いました。皆さん慣れた感じで戸惑う事無く放水をされていました。今迄現場の方が主体でしたが、今後は事務社員も含めた放水訓練を行う事が必要との話が出てそのような取組を進めていこうと思います。



安全週間への取組

7 月 3 日 印刷部門では、「挟まれ・巻き込まれ」事故がいちばん多く、現場で事故再現を行い十分に注意する事の徹底とまた、同業者工場で二人作業において巻き込まれによる死亡事故報告を受け、二人作業での注意点について周知を行いました。



品質活動報告

当社では環境負荷低減活動の一環として、クレーム・不適合の削減に取り組んでいます。

品質保証の取り組みについて

明文舎品質保証グループ

品質保証方針

次工程へ不良を送らない

― 自部門における品質は 自部門で責任をもつ ―

『品質第一』を掲げて

2025年の行動計画は真っ先に「一点の陰りも無い品質保証体制をつくる」この一文が掲げられています。新社長のもと、お客様からは今まで以上の**品質の維持・管理・改善**が求められている事を品質保証本部一同が真摯に受け止め、継続すべき事は継続しつつ、新しい試みにも果敢に挑戦しています。

新しい試みとしては、部署の垣根を取り払い、会社全体でクレームや不適合の情報を共有し、良い対策や改善作はどんどん参考にしてもらおうと起してしまつた事例の貼り出しを始めました。色々な情報をオープンにすることで組織全体の学習と成長に繋がっています。

真因を追求する

同じミスを繰り返さないために一番重要なのは、そのミスはどうやって起きたのか、なぜ起きたのか、この「**真因を追求する**」という作業が本当に果たしているかです。残念ながら職長の主観や思い込みによって原因が特定され、一見完璧な対策がうたれたような報告書が出来上がります。しかし、またよく似た事例が起きてしまつ…。品証による客観的な分析と現場の「なぜなぜ分析」で真因を追求し、二度と同じ不良を起こさないしくみを構築します。

一点の陰りも無い品質を目指し、これからも全社をあげて取り組んでまいります。



◎クレーム事例を廊下に貼り出しました

◎なぜなぜ分析表を作成しました

◎品質に関わる重要項目はワンポイントにまとめました

